

こっこめ通信 12 2021

「ハクチョウとカラスウリ」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

北国では急な大雪のために市民生活にも影響が出ているようですが、八丈島でも最高気温が15℃に届かない日が出てきて冬らしくなってきました。そんな中、日本で冬の使者といえは皆さんの頭に真っ先に思い浮かぶ鳥、白鳥が八丈島でも確認されました。しかも、島では19年振りの記録となるオオハクチョウです。「こんなに遠いところまでようこそ。」と言ってあげたいですね。最近では八丈島にいくつかある淡水の池に外来種の水草が増え、オオハクチョウもなんとか餌を採ることができそうです。そこで今回は、これまでに八丈島で確認されたことのあるハクチョウ属 (*Cygnus*) のお話しと、冬枯れの野山を彩るカラスウリの仲間を紹介します。

久しぶりのオオハクチョウ



オオハクチョウ *Cygnus cygnus*

その学名からも想像できる通り、ハクチョウ属を代表する鳥です。ロシア極東で繁殖し、冬期には日本の北関東まで南下して越冬しますが、大きく開けた水場のない八丈島は彼らの居場所としては似つかわしくないですね。

無事に冬を越して繁殖地へ帰れることを祈るのみです。



左の成鳥と一緒に飛来したオオハクチョウの幼鳥。

やはり長距離移動の経験に乏しかったためか、この個体は相当衰弱しており、この後間もなく力尽きてしまいました。自然の掟とは言え、普通に東北地方の湖沼にでも降り立っていただれば命を落とさずに済んだかもしれないと思うと、心が痛みます。(T.K.)



コハクチョウ *C. columbianus*

八丈島では一番馴染みのあるハクチョウです。

とは言え、稀に渡ってくるだけで、毎年会える訳ではありません。八丈島では、やはり珍鳥です。



コクチョウ *C. atratus*

オーストラリア原産で日本では飼育されていたものが野生化し繁殖しています。それにしても八丈島まで飛んでくるとは驚きです。

ビジターセンターで把握しているハクチョウ属の記録

| | |
|----------|-----------------------|
| 1993年11月 | コブハクチョウ1羽 (山階鳥類研究所標本) |
| 1986年04月 | コハクチョウ1羽 (山階鳥類研究所標本) |
| 1996年10月 | コハクチョウ1羽 |
| 1997年11月 | コハクチョウ6羽 |
| 2000年11月 | コハクチョウ1羽 |
| 2001年12月 | コハクチョウ1羽 |
| 2002年12月 | オオハクチョウ幼鳥2羽 |
| 2006年12月 | コハクチョウ1羽 |
| 2007年10月 | コハクチョウ2羽 (写真左上) |
| 2008年05月 | コクチョウ1羽 (写真左下) |
| 2010年10月 | コハクチョウ成鳥2羽・幼鳥2羽 |
| 2013年10月 | コハクチョウ成鳥1羽 |
| 2019年01月 | コハクチョウ幼鳥1羽 |
| 2020年11月 | コハクチョウ成鳥1羽 |
| 2021年11月 | オオハクチョウ成鳥1羽・幼鳥1羽 |

「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科(旧ツグミ科)の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

秋はやっぱり、カラスウリ

晩秋の頃、木に絡まった蔓から垂れるオレンジ色の実が目立つようになります。島のカラスウリたちが唯一目立ち始める季節です。そこで今回は島のカラスウリの仲間たちを比較してみたいと思います。(写真の縦線は1cm。) (M.K.)

★カラスウリ (*Trichosanthes cucumeroides*)



実はだ円形



★ケカラスウリ (*Trichosanthes pilosa*)



実は先端が嘴状



★キカラスウリ (*Trichosanthes kiriiowii* var. *japonica*)



実は全体的に球形



<果実>

実は秋になると熟して、カラスウリとケカラスウリはオレンジ色に、キカラスウリは黄色になります。カラスウリとケカラスウリはよく似ていますが、ケカラスウリは果実の下が嘴のようになっているので区別がつかます。

<果実の断面>

キカラスウリの種子は、整然と並んでいて縦に割る時、刃がすっと入っていく感じがしましたが、カラスウリとケカラスウリはすんなり行かず、切りにくく、刃に種がひっかかり崩れてしまいました。

<種子>

こうして比べると割る時、カラスウリとケカラスウリが切りにくかったのは、種が丸く刃にあたったからだろうと思いました。キカラスウリの種子は扁平で南瓜の種みたいです。だから、整然と並んでいたのでしょう。

★オキナワズメウリ (*Diplocyclos paimatus*)



カラスウリと同じウリ科のオキナワズメウリ。カラスウリとは属が違うので、大まかなところはカラスウリと似ていますが、よく見るとやっぱり違う？植物です。この植物は島の在来種ではありません。果実がとても可愛いので、園芸品として八丈島に入った物が逸脱してしまったのか、今では「え？こんなところに？」というところでも見かけるようになってきました。これから注視していく必要のある物の一つになりつつあるのかもしれない。

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きものを観察して季節を感じてもらう目的で「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。季節の変化を感じられる植物は全て記録し、野鳥や昆虫の様子も観察しています。今回は11月14日に実施しました。

八丈植物公園季節調査（2021年第11回）参加者：茂手木、沖山美、沖野、内海、沖山三、VC菊池

| NO. | 和名（島名） | 状態 | NO. | 和名（島名） | 状態 | NO. | 和名（島名） | 状態 |
|-----|-------------|-----|-----|-----------|------|---|------------|----|
| 草本 | | | 28 | ハイメドハギ | 実 | シダ植物 | | |
| 1 | アオノクマタケラン | 実 | 29 | ハチジョウアザミ | 花 | 1 | イシカグマ | |
| 2 | アキノノゲシ | 蕾 | 30 | ハハコグサ | 花 | 2 | オオイタチシダ | |
| 3 | アシタバ | 実 | 31 | ハマコンギク | 花 | 3 | オオタニワタリ | |
| 4 | イガガヤツリ | 実 | 32 | ヒナギキョウ | 花と実 | 4 | オニヤブソテツ | |
| 5 | イヌホオズキ | 花と実 | 33 | ヒメクグ | 実 | 5 | カニクサ | |
| 6 | イノコズチ | 実 | 34 | フウトウカズラ | 実 | 6 | タチクラマゴケ | |
| 7 | イワニガナ | 花 | 35 | ヘクソカズラ | 実 | 7 | タチシノブ | |
| 8 | ウスベニニガナ | 花 | 36 | ヘラバヒメジョオン | 花 | 8 | タマシダ | |
| 9 | エダウチチヂミザサ | 実 | 37 | メヒシバ | 実 | 9 | ナチシケシダ | |
| 10 | オオバコ | 実 | 38 | メリケンカルカヤ | 実 | 10 | ノキシノブ | |
| 11 | オニタビラコ | 花 | 木本 | | | 11 | ハチジョウカナワラビ | |
| 12 | カタバミ | 花と実 | 1 | イヌビワ | 実 | 12 | ハチジョウシダ | |
| 13 | カラムシ | 実 | 2 | オオバヤシャブシ | 実 | 13 | ハマハナヤスリ | |
| 14 | キツネノマゴ | 実 | 3 | オオムラサキシキブ | 実 | 14 | ヒトツバ | |
| 15 | コニシキソウ | 実 | 4 | ガクアジサイ | 実 | 15 | ヘラシダ | |
| 16 | コミカンソウ | 実 | 5 | シマクサギ | 花と実 | 16 | ホシダ | |
| 17 | シマササバラ | 実 | 6 | ツルグミ | 花芽 | 17 | ホラシノブ | |
| 18 | ススキ sp. | 実 | 7 | トベラ | 実 | 18 | マツザカシダ | |
| 19 | スズメノカタビラ | 花 | 8 | ハゼノキ | 実と紅葉 | 19 | マツバラ | |
| 20 | セイヨウタンポポ | 花 | 9 | ハチジョウキブシ | 花芽 | 20 | マメツタ | |
| 21 | センニンソウ | 実 | 10 | ヒサカキ | 花芽 | 21 | ミゾシダ | |
| 22 | チガヤ | 実 | 11 | ヒメユズリハ | 実 | 22 | ヤマイタチシダ | |
| 23 | チヂミザサ | 実 | 12 | ホウライカズラ | 実 | 今回は、シダ植物 22 種を含む 76 種の植物を観察しました。 昆虫ではクワゴマダラヒトリの幼虫の集団がアカメガシワの葉に糸を張っているのが目立ちました。 | | |
| 24 | ツルソバ | 花と実 | 13 | ホルトノキ | 実 | | | |
| 25 | ツブブキ | 花 | 14 | ヤツデ | 蕾 | | | |
| 26 | テンツキ | 実 | 15 | ヤブツバキ | 蕾 | | | |
| 27 | トゲナシサルトリイバラ | 実 | 16 | ヤブニッケイ | 実 | | | |

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、「ハチジョウトカラヤハズカミキリ」にスポットを当ててみたいと思います。



ハチジョウトカラヤハズカミキリ *Uraecha gilva hachi joensis*

トカラ列島に生息するトカラヤハズカミキリの伊豆諸島型の亜種です。八丈島と三宅島、御蔵島で記録されています。

このように、遠く離れた南西諸島と伊豆諸島に近縁の種が分布している例は他にもたくさんあり、改めて島の自然が黒潮の影響を強く受けていることを実感させられます。

このカミキリムシは成虫の姿で越冬するらしく、冬でも枯れ葉がついて垂れ下がった広葉樹の枝などから見つかることがあります。

触角が長くスマートで、カミキリムシらしい姿をしたカミキリムシです。八丈島では比較的普通に見られます。（T.K.）

2021 12

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島(神湊)の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|--|----------------------------|----------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|
| | | | 1 | 2 | 3 | ● 4 ガイドウォーク |
| この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります | | | 02:44 14:31 08:23 21:10 | 03:44 15:05 09:16 21:19 | 04:39 15:39 10:04 22:29 | 05:31 16:13 10:48 22:29 |
| 5 ガイドウォーク | 6 | 大雪 7 | 8 | 9 | 10 | ◐ 11 ガイドウォーク |
| 06:22 16:49 11:30 23:53 | 07:12 17:26 12:12 | 08:03 18:05 00:37 12:53 | 08:53 18:47 01:22 13:38 | 09:44 19:33 02:09 14:32 | 10:36 20:31 02:57 15:44 | 11:28 22:06 03:49 17:23 |
| 12 ガイドウォーク 植物公園季節調査会 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 ガイドウォーク |
| 12:18 04:51 18:55 | 00:27 13:03 06:06 19:55 | 02:15 13:43 07:22 2:38 | 03:23 14:20 08:27 21:14 | 04:11 14:55 09:20 21:47 | 04:50 15:28 10:03 22:19 | 05:25 16:00 10:41 22:52 |
| ◐ 19 ガイドウォーク 冬の特別行事 「リースを作ろう」 | 20 | 21 | 冬至 22 | 23 | 24 | 25 ガイドウォーク 八文学講座 「榎立八幡山散歩」 |
| 05:59 16:31 11:14 23:24 | 06:31 17:01 11:45 23:56 | 07:03 17:31 12:14 | 07:35 18:02 00:30 12:45 | 08:09 18:35 01:03 13:19 | 08:45 19:13 01:39 14:00 | 09:25 20:01 02:18 14:35 |
| 26 ガイドウォーク | ◐ 27 | 28 | 29 ガイドウォーク 年末年始特別行事 「体験八丈太鼓」 | 30 ガイドウォーク 年末年始特別行事 「体験八丈太鼓」 | 31 ガイドウォーク 年末年始特別行事 「体験八丈太鼓」 | 2022年 1月1日 |
| 03:02 16:45 | 03:54 17:32 | 05:00 18:50 | 01:04 12:42 06:19 19:52 | 02:40 13:33 07:40 20:44 | 03:54 14:19 08:52 21:31 | |

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を感じましょう！
12/12(日) (13:30～15:00) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名

冬の特別行事 「リースを作ろう」

毎年恒例のクラフト行事。身の回りの自然素材を使ってリースを作ります。
12/19(日) (13:30～15:00) 小学生以上(1～3年生は保護者と一緒に作ります)
ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名

八文学講座 「榎立八幡山散歩」

毎月行っている八文学講座。今月は榎立地区の八幡山周辺を歩きます。
12/25(土) (13:30～15:00) 中学生以上
榎立児童遊園地集合・解散 参加費：50円 定員：10名

年末年始特別行事 「体験八丈太鼓」

年末年始恒例の八丈太鼓体験教室です。屋外で実施しますので、雨天の場合は中止となります。
12/29(火)～1/3(月) (13:30から随時開催) だれでも参加できます
ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：ありません

植物公園ガイドウォーク

解説員が植物公園内をご案内します。
毎週 土日及び年末年始、(10:30～約1時間) だれでも参加できます。
ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ 八丈島

14:00～ おじゃりやれ 八丈島

15:00～ おじゃりやれ 八丈島

16:00～ 八丈・海・生きものたち

当面の間は上記のみの上映になります

東京都八丈ビジターセンター 2021.12.1 第247号

開館時間 9:00～16:45 年中無休(入館無料)

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

E-mail：info@hachijo-vc.com

http://www.hachijo-vc.com

編集後記

南米ペルー沖に発生したラニーニャ現象の影響でこの冬、日本では大雪になるかもしれないという予測が出ています。
世界では新型コロナウイルスの新たな変異株が広がっており、色々と注意が必要な冬になりそうです。(T.K.)